



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ノザワ
 コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,829	4.0	1,464	5.0	1,479	1.0	1,000	2.5
29年3月期第2四半期	11,285	6.7	1,541	2.7	1,465	3.1	976	3.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,132百万円 (19.3%) 29年3月期第2四半期 949百万円 (1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	87.76	
29年3月期第2四半期	85.61	

(注) 平成28年10月1日付で普通株式について2株を1株の割合で株式併合を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	25,731	16,130	62.7	1,414.51
29年3月期	24,683	15,454	62.6	1,355.18

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,130百万円 29年3月期 15,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				40.00	40.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,270	0.7	3,410	2.8	3,400	4.0	2,320	3.1	203.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	12,075,000 株	29年3月期	12,075,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	671,113 株	29年3月期	670,913 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,404,033 株	29年3月期2Q	11,404,759 株

(注)平成28年10月1日付で普通株式について2株を1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善、雇用所得環境の持ち直しを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。建築材料業界におきましては、建設投資は官民ともに堅調を維持しているものの、技能工不足や建設費高騰などの問題は払拭されず、依然不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは本年8月に創業120周年を迎えることができました。120年の長きにわたって存続することができたのはひとえに皆様のご支援の賜物と感謝いたします。

120周年を迎える本年、販売開始以来47年ぶりとなる押出成形セメント板「アスロック」の全面リニューアルを行いました。独自の製造技術により諸性能を向上し、耐久性がアップしたことで高層建築の外装にも安心してご利用いただくことが可能となる新素材「アスロックNeo」を平成29年6月より発売いたしました。同時に、独自に開発した高層専用工法「アスロックNeo-HS」を発売、高層の暴風に耐え、大地震による建物の揺れに伴うパネルの動きを半減するなどさらに安全性を高め、中低層から高層・超高層まで信頼性が高い当社オリジナル工法でご提供することが可能となりました。より安全に、さらに強靱な性能を備えて生まれ変わった高耐久性押出成形セメント板「アスロックNeo」の拡販に努めてまいります。

「アスロックNeo」の発売に併せて、パネル留付け部の安全性を大幅に向上した高耐力角ナット「NVナット」を6月に発売、標準仕様化いたしました。留付け金物は、パネルが受ける風圧力や地震力を支持するという重要な役割を担っており、ナット形状をV型にしたことでパネルのボルト孔部に直接力がかからず、風圧力や地震力に対する引抜き耐力が大幅に向上させております。また、デザインパネルのリブ凹凸を異なる色で塗り分ける業界初の工場塗装品「リブWコート」に、新たに7品種をラインナップし、6月に発売いたしました。ロングセラーで根強い人気のリブ高さ15mmから25mmのデザインパネル7品種を対応品種に新たに追加し、デザインパネルならではの重厚でシャープな意匠に、ツートンカラーの調和が建物の外観を一層際立たせます。

販売部門では、リブ形状パネルやエンボス系パネルなど多種多様なデザインで、工場塗装品との組み合わせでさらに意匠性が高まる「デザインパネル」、深刻な技能工不足による工期遅延問題を解消する「アスロックLS工法」並びに「工場プレ加工」の販売数量を伸ばしました。生産部門では、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動により、各工程の生産性及び品質の向上、コスト削減に取り組みました。管理部門では、システム構築による業務効率化、安定した資材調達に取り組みました。マイケミカル事業では、米・麦を主体とした施用効果の集積とPRにより、ミネラル肥料「マインマグ」は北海道や新潟をはじめ全国で販売数量を伸ばし、上半期過去最高数量を記録いたしました。海外事業では、中国北京・青島地区において「アスロック」のPR効果が現れているものの、中国建設市場の停滞を受け「野澤貿易(上海)有限公司」及び「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」は厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は73億94百万円(前年同期比1.6%減少)、住宅用軽量外壁材は11億27百万円(前年同期比9.4%増加)となり、押出成形セメント製品関連合計では85億22百万円(前年同期比0.3%減少)に、耐火被覆等は4億90百万円(前年同期比42.5%減少)、スレート関連は4億35百万円(前年同期比4.8%増加)となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は108億29百万円(前年同期比4.0%減少)となりました。

利益面については、主力である押出成形セメント製品の増販並びに経費削減に努めた結果、営業利益は14億64百万円(前年同期比5.0%減少)、経常利益は14億79百万円(前年同期比1.0%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億円(前年同期比2.5%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が70百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が7億8百万円、未成工事支出金が1億35百万円それぞれ増加したこと等により122億18百万円(前連結会計年度末と比較して7億67百万円増加)となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ有形固定資産が1億90百万円、投資有価証券が1億78百万円増加したこと等から、135億13百万円(前連結会計年度末と比較して2億81百万円増加)となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ10億48百万円増加し257億31百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が2億96百万円増加したこと等から、54億73百万円(前連結会計年度末と比較して3億62百万円増加)となりました。固定負債の残高は、退職給付に係る負債が前連結会計年度末に比べ14百万円増加したこと等から、41億27百万円(前連結会計年度末と比較して9百万円増加)となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ3億72百万円増加し96億1百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、利益剰余金が5億44百万円増加したこと等から、161億30百万円(前連結会計年度末と比較して6億76百万円増加)となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は44億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は7億96百万円(前年同期は10億8百万円の増加)となりました。これは売上債権の増加額6億4百万円や、法人税等の支払額4億22百万円等の資金の減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益14億59百万円や、仕入債務の増加額3億65百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は4億2百万円(前年同期は2億21百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出4億28百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は4億63百万円(前年同期は6億90百万円の減少)となりました。これは親会社による配当金の支払額4億55百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点では平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,497,331	4,426,413
受取手形及び売掛金	5,226,285	5,934,747
商品及び製品	454,043	572,651
仕掛品	3,883	7,687
原材料及び貯蔵品	166,366	179,117
未成工事支出金	146,054	281,173
その他	960,502	819,688
貸倒引当金	△3,101	△2,617
流動資産合計	11,451,365	12,218,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,063,606	2,056,509
機械装置及び運搬具(純額)	810,746	929,090
土地	6,473,480	6,473,480
建設仮勘定	62,697	124,300
その他(純額)	241,745	259,832
有形固定資産合計	9,652,275	9,843,213
無形固定資産	19,679	17,977
投資その他の資産		
投資有価証券	2,819,508	2,997,621
その他	818,631	732,352
貸倒引当金	△78,104	△78,104
投資その他の資産合計	3,560,036	3,651,869
固定資産合計	13,231,991	13,513,059
資産合計	24,683,357	25,731,921

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,173,188	3,469,608
未払法人税等	503,489	506,177
賞与引当金	320,000	278,000
その他	1,114,129	1,219,997
流動負債合計	5,110,807	5,473,783
固定負債		
長期借入金	245,000	245,000
再評価に係る繰延税金負債	1,466,739	1,466,739
退職給付に係る負債	1,953,312	1,967,925
資産除去債務	13,784	13,801
その他	439,178	433,783
固定負債合計	4,118,015	4,127,249
負債合計	9,228,822	9,601,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	7,717,479	8,262,118
自己株式	△259,006	△259,287
株主資本合計	11,378,045	11,922,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	822,778	943,116
土地再評価差額金	3,142,030	3,142,030
為替換算調整勘定	276,262	277,496
退職給付に係る調整累計額	△164,582	△154,158
その他の包括利益累計額合計	4,076,489	4,208,484
純資産合計	15,454,534	16,130,888
負債純資産合計	24,683,357	25,731,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	11,285,869	10,829,222
売上原価	7,357,326	7,031,936
売上総利益	3,928,542	3,797,285
販売費及び一般管理費	2,387,029	2,332,887
営業利益	1,541,513	1,464,398
営業外収益		
受取利息	99	63
受取配当金	39,858	48,763
貸倒引当金戻入額	635	484
その他	23,608	18,119
営業外収益合計	64,202	67,431
営業外費用		
支払利息	8,063	5,025
賃貸費用	11,007	11,004
売上割引	9,717	11,450
為替差損	92,656	7,015
その他	18,882	18,023
営業外費用合計	140,327	52,518
経常利益	1,465,388	1,479,310
特別損失		
固定資産除却損	15,860	20,000
特別損失合計	15,860	20,000
税金等調整前四半期純利益	1,449,528	1,459,310
法人税、住民税及び事業税	492,325	442,607
法人税等調整額	△19,177	15,900
法人税等合計	473,147	458,507
四半期純利益	976,380	1,000,802
親会社株主に帰属する四半期純利益	976,380	1,000,802

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	976,380	1,000,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,660	120,337
為替換算調整勘定	16,601	1,233
退職給付に係る調整額	10,830	10,424
その他の包括利益合計	△27,228	131,995
四半期包括利益	949,152	1,132,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	949,152	1,132,797
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,449,528	1,459,310
減価償却費	209,018	217,064
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△135	△484
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△30,917	29,679
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,700	△42,000
受取利息及び受取配当金	△39,957	△48,827
支払利息	8,063	5,025
為替差損益(△は益)	91,097	7,321
固定資産除却損	15,860	20,000
売上債権の増減額(△は増加)	△692,637	△604,405
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,448	△271,309
仕入債務の増減額(△は減少)	637,339	365,961
その他	78,601	34,728
小計	1,640,112	1,172,064
利息及び配当金の受取額	39,957	48,827
利息の支払額	△3,064	△1,563
法人税等の支払額	△668,559	△422,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,008,446	796,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△224,997	△428,469
無形固定資産の取得による支出	△5,183	—
投資有価証券の取得による支出	△4,793	△4,992
その他	13,396	30,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,578	△402,601
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,000	—
短期借入金の返済による支出	△80,000	—
長期借入金の返済による支出	△310,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,669	△7,793
自己株式の取得による支出	△148	△280
親会社による配当金の支払額	△293,417	△455,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△690,235	△463,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,789	△1,133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	78,842	△70,918
現金及び現金同等物の期首残高	3,815,386	4,497,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,894,228	4,426,413

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増減
区分			
押出成形セメント製品	4,771,158千円	5,218,625千円	447,467千円
スレート関連	268,405	257,036	△11,369
その他	49,733	54,899	5,165
合計	5,089,297	5,530,560	441,263

(注) 1 金額は、製造価格によります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。なお、その他の事業の受注はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
区分						
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	1,039,722	1,215,967	919,166	1,190,001	△120,556	△25,965
スレート工事	4,726	—	3,265	—	△1,461	—
耐火被覆等工事	772,912	528,555	663,268	468,125	△109,644	△60,429
その他工事	203,280	399,230	252,633	421,178	49,353	21,947
合計	2,020,641	2,143,753	1,838,332	2,079,304	△182,308	△64,448

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増減
区分			
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	8,548,774	8,522,278	△26,495
(内、アスロック)	(7,518,056)	(7,394,380)	(△123,675)
(内、住宅用軽量外壁材)	(1,030,718)	(1,127,898)	(97,180)
スレート関連	415,983	435,789	19,806
耐火被覆等	854,461	490,938	△363,523
その他	1,449,663	1,362,139	△87,523
計	11,268,883	10,811,147	△457,736

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間18,075千円であり、前年同期比1,089千円の増加となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減
	金額	割合	金額	割合	金額
積水ハウス㈱	2,425,411千円	21.5%	2,504,195千円	23.1%	78,783千円
伊藤忠建材㈱	1,554,834	13.8	1,732,017	16.0	177,182

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、上記のとおりです。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。